

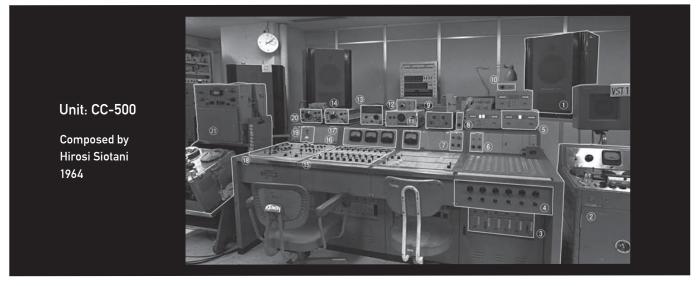
「音の始原を求めて」は、1950年代に独創的なアイディアの電子音楽スタジオとして設立されたNHK電子音楽スタジオの貴重な音源を保存・ 公開するプロジェクトです。初期スタジオの設計者、塩谷宏氏の追悼として1993年に始まった『音の始源を求めて』シリーズを中心に、歴史的 価値の高い電子音楽作品を後世に伝える活動を行っています。2024年のスタジオ開設70周年にあたり、多彩な記念事業を展開中です。

音の始源を求めて〈エンジニア&作家シリーズ〉

https://sound3.buyshop.jp







電子音楽スタジオ CC-500(1968以降)

- 1 モニタースピーカー/三菱 R305
- 2 コロンビア(デノン)/可変速テープレコーダー(型式不明)
- **3** LAM(直線増幅器)リニア アンプリチュード モジュール
- 4 モニターレベルコントローラ(微調整付きアッテネーター)
- 5 エコーリモート/エコー室、鉄板エコー等の残響時間などを調整
- 6 VR/シーメンスKEYでON/OFF (、各ユニットへのコントロール電圧を発生 16 中列はアッテネーター(現在のVRフェーダー)と同じ物 RINGモジュレーター(不鮮明)
- 7 VR (Voltage Reverse)
- 8 NF回路ブロック社 HIGH PASS、LOW PASS フィルター
- 9 組み合わせてBPF回路
- 10 VR (Voltage Reverse)
- 11 菊水電子 リサージュモニター/位相確認

- 12 レベルメーター/-60dBから+10dBまで監視
- 13 ワイドレンジ オシレーター
- 14 オシレーター/サイン、方形、鋸歯状、三角波を選択発生 VCF入力あり
- 15 3列各10ユニットあり、VR ※両手の指の数にあわせて10ユニットに設計された
- 17 インテグレーター/VRで発生したコントロール電圧のガリを積分回路により ピークが出ないようにする
- 18 右2つはVR、左側はインテグレーター
- 19 VRのツマミの色違い
- 20 オシレーター/サイン、方形、鋸歯状、三角波を選択発生VCF入力あり
- 21 コロンビア(デノン)/可搬型テープレコーダー(型式不明)

